

目次

はしがき

序章 東福門院徳川和子の入内は何ゆえ行われたのか…………… 1

入内戦略の意味 禁中并公家諸法度 徳川和子の入内

第1章 関ヶ原合戦後の地政学…………… 9

1 関ヶ原合戦と戦後の領地分布 9

新たな関ヶ原合戦像 関ヶ原合戦の概略

2 豊臣家と秀頼の政治的地位 17

豊臣秀頼の存在 東西二重国制 分裂と対立

3 京都の政治的位置 24

「京都の役割」 「慶長八（一六〇三）年、江戸幕府の成立」という表現
二条城の歴史的意義

4 大坂の陣 35

残る二重国制 西国問題

第2章 徳川和子の入内……………4^I

1 後水尾天皇の即位……………4^I

入内交渉の始まり およつ御寮人問題

2 西国問題としての福島改易事件……………44

広島城の無断修築 広島城籠城

3 豪華絢爛たる入内行列……………46

二条城からの入内 女御と中宮

第3章 寛永二条城行幸……………5^I

1 二条城行幸の企図……………5^I

2 二条城の大改修——第二次二条城……………52

3 洛中洛外図屏風の謎……………55

4 行幸当日の次第……………57

5 五日間の行幸行事……………63

第一日（九月六日） 第二日（九月七日） 第三日（九月八日） 第四日
（九月九日、重陽の節句） 第五日（九月一〇日）

第4章 高仁親王即位問題……………

71

1 徳川系皇子の誕生……………

71

親王の誕生

安徳天皇の先蹤

公家・朝廷の祝宴

2 高仁親王即位の決定……………

77

四歳の即位

見逃されてきた重大問題

3 「太子崩御」……………

80

親王急病

幕府の対朝廷政策の挫折

第5章 紫衣事件……………

83

1 副次的な紫衣問題……………

84

紫衣事件の位置付け

孤立する寛永行幸像

2 家康の法度と幕府の宗教政策……………

87

勅許紫衣法度

宣旨と公帖

3 寛永四年の寺院法令とその運用……………

89

寛永四年の新法令

紫衣問題の新たな展開

4 沢庵らの抗弁書提出……………

95

硬軟両派の論争

崇伝の反応

5 一年後の江戸召喚……………

98

6 峻厳な処分 100

配流と剥奪 後水尾天皇の鬱屈

第6章 明正女帝の即位…………… 103

1 後水尾天皇の譲位問題 104

2 紫衣事件と女帝問題 106

3 春日局の参内と譲位 108

4 後水尾天皇と東福門院の時代——修学院離宮 111

幕府の対朝廷政策の転換 後水尾院と東福門院 修学院と法皇御幸

寛永文化とサロン

終章 寛永二条城行幸の歴史的意義…………… 117

幕府の対朝廷政策 寛永九年の政変と西国問題 江戸一極体制の確立——

参勤交代 王権の分裂

補論1 関ヶ原合戦と近世の国制…………… 125

1 はじめに 125

2 関ヶ原合戦とその政治的帰結 127

	関ヶ原合戦をめぐる五つの政治的対立構図	関ヶ原合戦の推移	小山の評
	定と家康方東軍の展開		
3	家康の將軍任官と慶長期の二重公儀体制	135	
	豊臣秀頼に対する伺候の礼	勅使・公家衆の大坂参向	慶長期の伊勢国絵
	図の記載	慶長一年の江戸城総普請における豊臣奉行人の介在	慶長一
	六年の三ヶ条誓詞		
4	徳川幕府と朝廷——家康の外戚戦略	142	
	徳川幕府の京都政策	徳川和子の入内と高仁親王の即位問題	紫衣事件
	明正天皇の即位		
5	むすびに	152	
	補論2		
	禁裏と二条城をめぐる政治的表象	158	
1	中世の里内裏から近世の禁裏へ	158	
2	天下人と禁裏造営	159	
	度重なる禁裏造営	寛政度の禁裏造営	
3	徳川幕府と二条城	164	
	將軍任官儀礼の拠点としての二条城	寛永二条城行幸	儀礼の場としての
	二条城		
4	むすびに	169	

補論3 高仁親王即位問題と紫衣事件……………175

1 はじめに 175

2 徳川和子の入内 178

3 高仁親王の誕生と即位問題 181

高仁親王の誕生と朝廷 高仁親王と徳川幕府 高仁親王の即位問題

高仁親王の死

4 紫衣事件 191

寛永四年の寺院法令と紫衣事件の展開 後水尾天皇の譲位と明正女帝の即位

5 むすびに 199

参考文献 207

あとがき 211

人名索引